



20年後に聞く友の声

日中創立 30周年 記念にタイムカプセル埋める

日光中学校生徒会では、十月一日、学校創立三十周年を記念して「タイムカプセル」を、職員室前庭の大石のもとに埋めました。タイムカプセルは直径四〇センチ、高さ五〇センチのポリ製の容器で、全生徒が録音したカセットテープ九本、クラスを紹介した作文十三編、昭和五十四年度の生徒会名簿と学校概要などを収めました。カセットテープは湿気に弱いので、金属の管に入れ、その上をアルミ箔で包んであります。もし、カセットテープが湿気にやられた場合のことも考え、テープの代替用に作文が収められています。タイムカプセルは、二十年後の学校創立五十周年記念式典に開き、出席者全員で作文やカセットテープを聞きながら、中学時代の思い出を話し合うことになっています。

↑タイムカプセルを埋める生徒



作品の中から…「弥生祭」
湯沢圭子さん (東中1年)

姉妹都市 パームスプリング市と 児童画を交換

国際児童年

国際児童年にちなんで、姉妹都市のパームスプリング市と、児童画の交換をすることになり、作品を募集していましたが、市内の小中学生(四年～六年)と中学生から、二百十三点の作品が集まりました。その中から百五点を選び、このほ

どパームスプリング市へ贈りました。

作品は、「私たちの遊び」をテーマにしたものが中心で、このほか「日光の祭り」「風景」など、いずれもすばらしいものばかりです。

児童画は、パームスプリング市からも送られてきますので、いろいろな機会をとらえ、広く市民の皆さんにお見せする計画です。

児童画の交換で、お互いの子供に関する理解を深め、同時に、両市間の友好親善がさらに深まることと、期待が寄せられています。作品の中から、「日光和楽踊り」
江崎有能君(日光小四年)



「明日を築く青少年に温かい思いやりを」

11月は **全国青少年健全育成強調月間**

次代を担う青少年を健全に育てることは、社会の一員である私たちの大きな課題です。また、私たちの青少年を見守る温かい目が、明日の社会を築く「原動力」を育てていくのです。

